

# ゆる.ぶら倶楽部

# 3月

2015.3.1 ニュースレター第 68 号

# 3/27

# SUN



# 発表会!

ありがとう!  
みなさんのおかげで  
出来ました!//



毎号本紙に掲載している「しばた100選」は平成25年度にまちづくり提案制度で採択され、柴田町町制施行60周年記念事業として実施されています。ついに冊子が完成し、3月27日(日)には、槻木生涯学習センターで発表会を開催します。「しばた100選」と発表会のことについて、次のページでちょっと詳しく紹介しています!

## 今月号の目次

### 2 ページ目

#### ●しばた100選情報!

「しばた100選」に関する最新情報を発信します。

#### ●ギャラリー展示募集中!

“ゆる.ぶら”のギャラリーを利用してみなさんの活動や趣味を紹介してみませんか。

### 3 ページ目

#### ●今月のゆる.ぶら

3月の体験会やギャラリーなどの情報を発信します。

#### ●先月のゆる.ぶら

2月の体験会やギャラリーなどのよすを報告します。

### 4 ページ目

#### ●かおりのシバタンケン! vo.2

地域おこし協力隊の鈴木香織さんがまちの魅力を紹介します。

#### ●スタッフコメント

“ゆる.ぶら”スタッフから一言!

## ゆる.ぷら インフォメーション

### 【 しばた100選情報！ 】

“ゆる.ぷら”は「しばた100選」をずっと追いかけてきました。事業開始から2年以上が経ち、3月27日（日）ついにみなさんへ発表の日を迎えます。今回は「しばた100選」のおさらいとして、これまでの経過などを簡単にご紹介します。

#### ●こんな「100選」です！

「私たちのまちをもっと誇りに思いたい、好きになりたい」

「みなさんの心にある宝ものを知りたい、残したい、生かしたい」

そんな想いをカタチにする「しばた100選の選定」プロジェクトは平成25年度柴田町まちづくり提案制度で採択され、町の事業として始まりました。

町はプロジェクトを実行するためのスタッフを公募し7名による「しばた100選制作チーム」を組織しました。チームが主体となって町と協働でプロジェクトを進めてきました。

選定にあたっては、町民からの公募等による「しばた100選選考委員会」を設置し、選考会議や現地視察を重ね、応募された候補の中から100の地域資源を選定しました。

このような経過を経て、「しばた100選」ができ上がりました。

事業の計画・広報・応募・選定・制作を町民自らの手で実施しました。冊子などに掲載している写真や文章は、できる限り応募のあったものを使用しています。あたたかみのあるモノが完成しています！

#### ●ロゴマークのヒミツ！



もうすっかりお馴染みのこの（←）マーク。

どのような意味があるか、みなさんご存知でしたか？

へたは「柴田町の形」で「さくらの花びら」型の地図ピンをつけた、柴田町特産品の「ゆず」がモチーフになっています。さわやかさとかわいらしさにこだわったロゴマークなのです！

#### ●発表会は3月27日（日）です！

昭和31年4月1日に船岡町と槻木町が合併し、「柴田町」が誕生してから、今年の4月1日で60周年を迎えます。これを記念し、柴田町町制施行60周年イベントとして「柴田町PRビデオ」の上映会と「しばた100選」の発表会を行います。ぜひお越しください！

日時：3月27日（日）10:00～12:00 場所：槻木生涯学習センター 費用：無料

### 【 ギャラリーの展示作品を募集しています！ 】

#### ●みなさんの活動や趣味の作品を、展示で紹介してみませんか？

ギャラリースペースの展示は月2回程度の周期で変わっています。ジャンルを問わず、様々な作品などが“ゆる.ぷら”を楽しみ空間にしてくれています。趣味の作品を展示して、そのモノの良さを知ってもらいたい、同じことをしている人を見つけたい、という方や団体等の活動を多くの人に知ってもらいたい、仲間を増やしたいという方など、それぞれの目的でギャラリースペースをご活用いただいております。

活用してみたいという方は、日程や期間などお気軽にスタッフまでご相談ください。



◇展示期間：2週間程度

◇募集対象：町民または町内で活動する団体の活動紹介や作品など

※販売目的や商品の宣伝などにはご利用いただけません

◇利用できるモノ：パネル（9枚まで）、テーブル（5台まで）など

～過去の展示例～  
写真、絵画、人形、ステンドグラス、押し花、ちぎり絵、刺しゅう、書道、切り絵、盆栽、活動報告、中学校美術部、川柳、ミニチュア粘土、石ころアートなど



# ゆる.ぷら インフォメーション



## 【 3月の体験会やギャラリーなどのご案内 】

### ●11日 手作りおもちゃ体験会 ～パンダのニギニギ人形作り～

握るとかわいい鳴き声をする、世界で一つだけのおもちゃ作りにトライしてみませんか♪

開催日時：3月11日（金）10:00～12:00 申込期限：3月10日（木）まで  
定員：8名 持ち物：裁縫道具 費用：700円（材料代）



←完成イメージ

### ●13日 夢尾見太郎「おしゃべり口笛コンサート」

前回、60回目の公演を迎えた夢尾見太郎さん。今月も弟子のはなちゃんとコラボ演奏の予定です！

テーマ：「日向ぼっこしませんか♪」

2月の60回記念  
コンサートの様子→



開催日時：3月13日（日）13:30～14:00

### ●23日 メディカルアロマ作り体験会

赤ちゃんから使える精油を使って万能クリームを作ります。どなたでも簡単に作れますよ♪

開催日時：3月23日（水）10:30～12:30 ※1時間単位で2回実施

申込期限：当日まで 費用：500円（材料代） 定員：20名※各回10名、大人限定

### ●26日 リラクゼーション体験会

フットトリートメントと耳リフレで、日ごろ頑張っている自分へのご褒美をどうぞ。

開催日時：3月26日（土）10:00～13:00

費用：1,000円（材料代） 定員：6名

持ち物：フェイスタオル3枚 申込期限：3月25日（金）まで



### ●27日 しばたおもちゃ病院開院

壊れたおもちゃを修理する、「しばたおもちゃ病院」が“ゆる.ぷら”でも開院します！今後も毎月第4日曜日にサロンスペースで開院する予定です。

開催日時：3月27日（日）10:00～12:00 ※部品を交換した場合、実費をいただくことがあります

### ●ギャラリー「手作り工房 花壺木綿 着物リメイク作品展」(3月1日～3月13日)

古い着物を普段使用できる、小物やバックなどに再利用した作品を展示します。

### ●ギャラリー「鈴木久雄 桜の写真展 ～桜散歩～」(3月15日～3月27日)

まちわびた春、まもなく桜の季節ですね。桜の写真で、一足先に気持ちを桜色に染めてみませんか。

## 【 2月の体験会やギャラリーなどの様子 】

### ●ハートのアイシングクッキー体験会 (2月7日、9日)

親子の参加が多く、それぞれ個性的なクッキーに仕上がりました。「食べるのがもったいな～い」とつぶやきながら楽しそうに手をなめながら作業していましたよ♪



### ●「冬の北欧からの贈り物」

(2月2日～2月14日)



←額中で立体的な世界を表現するシャドウボックスやフランスの伝統工芸カルトナージュの作品に訪れた人は、足を止めじっくりと見入っていました。

### ●「公文コミセン前書写教室成果発表会」

(2月16日～2月28日)



←親子で鑑賞に訪れる方が多く、作品一つ一つの印象の違いを感じ取っているようでした。漂白剤を使ったユニークな作品もあり、楽しい展示会でした。

## ゆる.ぷら インフォメーション



柴田町  
地域おこし  
協力隊

地域おこし協力隊

## 【 かのりのシバタンケン！ vol.2 】

アクションを起こすのは常にそこに暮らす住民。そして賛同する仲間の存在があります。今回紹介するのは、海老穴地区に住む陶芸家、太田正孝さんと「アトスペース無可有の郷」（以下「無可有の郷」）。

3月10日から4日間に渡り「こころ点す灯りのお祭り」が、無可有の郷で開催されます。町内や宮城県内の学生達による灯りの作品展示に加え、柴田町在住の陶芸家、水彩画家、木工芸家そして漫画家による竹の灯りが、期間中の冬の夜に幻想的な世界を創り出します。

さらに今年は東日本大震災以降中断していた、作家達のみによる「灯り展」が今年の11月、5年ぶりに復活します。「灯り展」は無可有の郷が完成した2005年から毎年開催され、新聞にも取り上げられた大反響のイベントであったといいます。

企画者である太田さんに、この「灯り展」開催の経緯を聞くと、「町の人達が明るくなることをしたい」という思いがある事を知りました。過去に学生による事件が町内で起き、一時期暗い雰囲気にもまれていた柴田町。そこで何か行動したいと保護者同士で話し合った事が最初のきっかけであったといいます。後に、太田さんのその考えに共感した作家達が集まり、第1回「灯り展」は開催されました。心を灯す温かさ、希望、そして祈りを、それぞれジャンルの異なる作家達は作品に込めたそうです。結果として、この「灯り展」は訪れた町の人達の心を癒したそうです。



- 「灯り」のようす -



- 太田正孝さん -

最後に、太田さんご夫婦に今後の無可有の郷の取り組みを伺うと、「作品を創り出す作家もまた素敵だと思っている。だからこそそんな作家達を紹介していく活動をしていきたい。ここは展示場所だけではなく、創作を頑張る作家の発信の場となり、住民の受け取る場にもなれる」と話されていました。灯りだけではなく、人を照らしてくれるのもまた、人。そうやってこのご夫婦は多くの作家を照らしているようです。誰かを思いやる気持ちや行動こそが、人そして町までも前進させるのだと、このご夫婦から教えられた気がします。

柴田町地域おこし協力隊 鈴木 香織

◀地域おこし協力隊活動の様子は Facebook『地域おこし協力隊 宮城県柴田町』で検索！▶

新年を迎えたと思ったら、あっというまに三月ですね。町内の学校では卒業式が行われる季節です。卒業する子どもたちは、数年、数十年後には「まちの光」になって柴田町を照らしてくれることでしょう。ゆる.ぷらはこういった一つ一つの「まちの光」を応援していきます！

ゆる.ぷらスタッフ（駒板）

（お問合せ先）

■しばたまち交流ひろば“ゆる.ぷら”（イオンタウン柴田内）開館時間 10:00～18:00

電話 86-3631 FAX 86-3641 eメール yurupura@town.shibata.miyagi.jp

◀3月の休館日：7日、14日、22日、28日▶

■柴田町まちづくり政策課 電話 54-2111 FAX 55-4172

### ★“ゆる.ぷら”とは？

町民のみなさんや地域コミュニティ、市民活動団体などによる、まちづくり活動を総合的に支援する施設です。町民、自治会、学校や企業のみなさんとの間で協働によるまちづくりを推進することも目的としています。

### ★“ゆる.ぷら”の機能は？

#### ①まちづくり活動の場の提供

会議やイベント、印刷、活動報告や作品展示など

#### ②まちづくり活動に関する情報の収集・提供

チラシ・ポスターの受付、ボランティア・助成金情報など

#### ③まちづくり活動に関する相談への対応 など



◀柴田町 Facebook で毎週火曜日・金曜日に“ゆる.ぷら”情報発信中！▶